

広報

# あち

合併記念号

# 1月

2006 JANUARY No.179



1月4日本庁開所式でのテープカット

## 主な内容

村長 年頭あいさつ	2P
議長 年頭あいさつ	3P
合併記念特集	4P
浪合村閉村式典開催	12P
阿智村合併50周年記念式典開催	13P
村民税県民税の申告について	14P

## 新「阿智村」誕生

1月1日に浪合村と合併を行い、新「阿智村」が誕生しました。

(関連ページ 4ページより)

私たちの村(1/1現在) 人口6,687人 男3,231人 女3,456人 世帯2,092戸

●阿智村のホームページ  
<http://www.vill.achi.nagano.jp/>

# 年頭のごあいさつ

阿智村長 岡庭 一雄

新年あけましておめでとうございます。みなさまおそろいで、輝かしい新春をお迎えされたものと思います。本年は、特別な年であります。この一月一日をもって浪合村と阿智村が合併して、新たな阿智村として出発する記念すべき年となりました。

ここに改めて新「阿智村」の発足を宣言致します。

長年慣れ親しんできた浪合村を閉じられて、新しく阿智村に加わられたみなさんを心から歓迎致します。一年余に及ぶ合併協議や、住民のみなさんの代表による「新しい村づくり会議」等で、合併後の村づくりを協議してまいりました。いよいよそれを具体化し、二村が持っている良いところを伸ばし、足りなかったところを補って、活力ある地域、住民のみなさん一人一人が生き活きと暮らし続けられる村づくりに向けて、進んでまいりたいと思います。

「中京の軽井沢」を目指して別荘開発や治部坂高原、あららぎ高原観光を進めてきた浪合村が、昼神温泉を中心にした観光を進めてきた阿智村に加わることによって、この地域で最大の観光拠点が生まれることになりました。しかし合併したとはいえ、六千七百人という小規模自治体には変わりありません。厳しくなる地方財政や少子高齢化という現状は、変わるものではありません。

昨年末に、来年度の国の予算案も発表になりました。緊縮型の予算であり、国民の負担も自ずから大きくなっております。こうした中で住民のみなさんが、「住んで良かった、住み続けたい、住んでいることに誇りを感じられる」地域づくりを目指して、行政と住民のみなさんとの協働や、住民のみなさん同士の共同を高めることが最も大切であると思います。今まで村づくりの大きな柱としてきました、産業の振興、若者定住、子育て支援に加え、国の福祉施策の後退や自然災害や犯罪からのセーフティネットをどう構築するか、という安心、安全という課題が重要になってきています。

今年一年、みなさんと力をあわせて、豊かさや幸せを実感できる村づくりに取り組んでまいりましょう。災害のない平安な年でありますことを祈念しまして、新年のご挨拶と致します。

## 阿智村議会議長 井原勝利

新年明けましておめでとうございます。

輝かしい新春を迎え、村民皆様方の御多幸と御健勝を心より御祈念申し上げます。

本年、元旦をもって阿智村は浪合村と合併いたしました。人口…六、六八七人（七四四人増）、世帯数…二、〇九二戸（二八六戸増）、面積…一七〇・三一平方キロメートル）。の村になりました。

会地、伍和、智里の三村が合併し阿智村が誕生して五十年、先輩の皆様方のご努力により発展を続けてまいりましたが、更に本年浪合が加わり、大きくなって新しい村づくりを進めてまいります。

浪合地区の皆さん、心からご歓迎申し上げます。今日からは、公民館事業を始め各種団体等に積極的なご参画を願ひ、交流をはかり合いながら一日も早く溶けあつて、みんなで新村発展のために取り組んでいこうではありませんか。

さて、昨年の世相を表す言葉に「愛」が選ばれました。瀬戸市を中心に、半年にわたり開催された、「愛・地球博」は大成功で終了いたしました。元気な中京の余熱が、観光を基幹産業とする阿智村にも少なからず伝わって来てくれた事は喜ばしい事があります。引き換え、年末には愛すべき子供が襲われる悲しい事件が相つぎました。誠に残念な事であり、また決して他人ごとでなく、村民あげて、大切な子供達が安心して通学できる安全な環境づくりをしていく必要があります。

国の経済は明るい兆しが見えたと言われますが、所得税・住民税の定率減税縮小、たばこ税等増税に加え、介護保険料や厚生年金保険料等の引き上げなど、実施されると、家計負担増三兆円にもなるそうで、消費控えによりまた景気の低迷になるのでは、と心配するところでもあります。現在、国の長期債務残高は七七五兆円にも膨れあがり、国民一人当たり六〇七万円もの借金を抱えている事になる、と報道されています。人口減少時代を迎え、少子高齢化の波は更に進みます。尊い子や孫にこのまま負担をおしつけないためにも、国の進める改革は止むなしかとも思います。

地方交付税に頼る小規模の地方自治体の財政は、税減移譲もあるとはいえ、今後一層厳しさが増して来ると思われます。

我慢をしながら「出来る事は自分達で」と村民の皆様をお願いしている所ですが、健全財政の村づくりのためにも、今後も引き続きお願いしたいと思います。

昨年は災害の少ない良い年でした。農作物は全国的に豊作で、価格低迷は誠に残念でしたが、その分収穫量で補った年でもあります。

本年も災害のない良い年になる事と、各産業にとりまして発展できる年になりますように、ご祈念申し上げます。

「住民一人ひとりの人生の質を高められる持続可能な村づくり」をめざし議員一同取り組んでまいります。

皆様方のご協力をお願い申し上げます、年頭のご挨拶いたします。

阿智村・浪合村合併記念特集

# 1月1日 新「阿智村」誕生!!

## 新しい村づくりに向けてスタート

平成16年4月の浪合村からの合併協議申し込みから1年9ヶ月、平成18年1月1日、新「阿智村」が誕生しました。

この合併が施行されるまでの経過や協議結果、将来構想、新村の建設計画については、村民の皆様へ随時お知らせして参りましたが、新村のスタートにあたり、この足跡を振り返りたいと思います。

### 阿智村・浪合村合併記念式典開催

1月7日(土) 阿智村公民館



木賊獅子(子供獅子)披露

平成十八年一月一日付けで、新阿智村が誕生したことを祝い、一月七日、阿智村中央公民館で阿智村・浪合村合併記念式典を行いました。  
式典には、総務大臣代理の総務省自治財政局調整課長務台俊介氏、宮下一郎衆議院議員、吉田博美参議院

議員、長野県知事代理の県出納長青山篤司氏などをはじめとして飯田下伊那の各首長さん、旧両村関係者などおよそ三百人が出席しました。  
新村の誕生を祝うと共に、新しい村づくりに向けた意気込みを確認しました。

オープニングアトラクションでは、昨年十月に阿智村の無形文化財に指定された「木賊獅子」を智里西地区の小学生が披露し、参加された皆さんから喝采を浴びました。

式典の冒頭、式辞で村長は、合併までの経過を振り返ると共に、住民主体の村づくりを目指しつつ、今後の新しい村づくりについて「合併という行財政改革の効果は計り知れない。両村の良さを拡大し、新たな展望を切り開けると確信している」と述べました。続いて今回の合併に対する功績に対して、総務大臣表彰が旧浪合村長伊藤義寛氏及び旧浪合村議会議長塩澤正人氏に授与されました。



新「阿智村」誕生 万歳三唱

浪合地区の地域紹介の後、中学生の作文発表を行い、阿智中学校二年生熊谷大周君は、「より良い阿智村をつくるため、村民が心をひとつに合わせることが大切。交流をして大人も子供も顔見知りになるのが必要。」また、浪合中学校2年生の高木拓也君は、「浪合村の美しい自然や文化が大好きだ、これから新しい阿智村の財産として多くの人に愛されるようになるだろう。」と意見を発表しました。

続いて来賓紹介・祝電が披露され、自治会連絡会長石原泰蔵氏の万歳三唱で式典の幕を閉じました。

「村づくりは郷土に対する愛情の発露にある」

(塩澤匡一元浪合村長語録)

合併記念式典式辞(抜粋) 阿智村長 岡庭一雄

平成十八年の幕開けであります、

この一月一日に阿智村、浪合村が合併し「新阿智村」が誕生いたしました。

合併にいたるまで、国、県等の行政機関をはじめ多くのみなさまのご協力、ご支援をいただきました。まず深甚なる感謝を申し上げるものがあります。

◇合併選択までの経緯

浪合村におきましては、平成十三年より、厳しさをます村財政の中で行財政改革と同時に将来の村のあり方の研究を進めてきました。その結果一つの選択肢として合併を考えてきました。

一方、阿智村においても村のあり方の研究が進められてきました。阿智村においては、「自立プラン」を作成し、住民検討の結果「自立プラン」に基づく自立か、飯田市への編入合併かの住民アンケートを実施し

自立の道を選択いたしました。

その上で阿智村においては、村が存続するためにも周辺村の存続問題は欠かすことのできない問題ととらえ、西部の中心村としての役割を果たすと同時に、合併についても隣村との関係でかたくなに拒否しないので「自立プラン」を阻害しない範囲で合併の検討も考えていました。

こうした方針により、浪合村から合併協議に応じることになり、合併協議会を組織し、併せて住民のみなさんによる「新しい村づくり会議」もつくり研究が進められました。「自律的な住民の力で、小さいから輝く村を」という平成の合併問題に臨んだ阿智村の理念を共有されての、合併実現であります。

◇地域経済の自立的発展を目指して

昔から、三州街道の宿場として発展してきた両村は、進取の気概に富む人々が暮らしてきました。その結

果、常に旧習にとらわれることなく

時代の要請に依って地域づくりを進めてきました。昭和三十年代後半から、浪合村は、山林を活かして「中京の軽井沢」を目指し別荘開発をはじめスキー場、ゴルフ場の開発を進め、当地域の最初の観光開発を行いました。同じように、阿智村においては、工場誘致を進め工業化への転換を、その後中央自動車道の開通を迎え、屈神温泉の湧出という幸運に恵まれ当地域最大の宿泊観光地を実現しました。

地域経済の自立的発展を進めて来ましたが、今回の合併により、名古屋、豊田をはじめとする東海地域に開かれた、最も近い信州の観光地として発展できるものと確信しております。

◇郷土への愛情をもって

阿智村は、今期総合計画で村づくりの目標を「一人ひとりの人生の質を高められる、持続可能な発展の村」といたしております。

住民のみなさんが、住んでいて良かった、住み続けたいと感じ、住んでいることに誇りが持てる地域を目

指していかうとするものであります。

浪合においては、住民のみなさんの生涯学習を大切にしたい「村全体が浪合学校」という目標を掲げてきました。共に住民のみなさんの自己実現に重きを置いた、住民主体の村を目標にいたしております。

新しくできた浪合自治会は、阿智村に既にある六つの自治会と共に、行政と対等の機関として、住民みなさまの手による自律、自助の組織として活力ある地域づくりを進めて頂けるものと思えます。

◇自治体再生のモデルとなる

小規模町村の、地域再生の一つの選択肢として、今回合併という手段を両村は選びました。基礎的自治体の規模を一万人以上というのが国の方針であります。山間部の地域においては、今回のように合併によって村落の崩壊が心配され、規模の拡大は困難が予想されます。

そうした意味においても、今回の私どもの選択が小規模自治体再生のモデルとなるような成果を収めなくてはならないと考えます。

# 新「阿智村」誕生に寄せて

住民の皆さんから、一言いただきました

地域に根付いて、  
文化や伝統を  
守っていくことが



浪合地区  
近藤守孝さん

新阿智村誕生おめでとうございます。浪合地区も新村の一員となりました。

平成十七年十二月十日に浪合自治会設立総会を行い、私たち浪合地区に新たな自治会をスタートすることが出来ました。この初代自治会長に、私が選任されたことをたいへん名誉に思うと同時に、責任の重さを痛感しております。

また、昨年の暮れには旧浪合村の閉村式が行われ、一抹の寂しさを感じ

ています。

しかしながら、阿智村の伍和地区や智里地区には、旧浪合村からの人の交流も多く、私ごとでは、村議会や消防団・商工会と、阿智村の方々とは過去にもお世話様になり交流を重ねてまいりましたので、これから一緒に村づくりに取り組んで行けることを、うれしく思っています。

旧浪合村は昭和以降、合併の経験がないため、いままでのものを一度に変更することは難しく、ゆっくりと変えていくことが、地域住民がお互いに納得できるのだと思います。子供から高齢者までが地域に根付いて、文化や伝統を守っていくことが、持続可能な地域づくりに繋がるのだと考えます。

浪合地区自治会も始まったばかりですので、よろしくご指導のほどお願いいたします。

浪合地区の皆さんと  
早く知り合いになって



伍和地区  
井原里美さん

阿智村と浪合村合併おめでとうございます。

浪合の皆さんを心から歓迎いたします。浪合の皆さんは、今回の合併で、新しい村に対する期待と、反面不安があることと思います。

最初阿智村は「自立の村」を掲げていましたが、浪合村が合併の申し込みをしてきた中で、編入合併という形となりました。国からの補助金が減らされてくる中では、合併をして経費を減らしていくことは、新しい時代に対応していくために仕方がないことだと思えます。

私は、この合併に「新しい村づくり会議」委員として関わってきました。浪合地区の皆さんといろいろとお話をさせて頂き、いろんな考えの

方が居られる事を知りました。

新阿智村になって、人口も増えた中で「新しい村づくり」のためには、大勢の人が一緒になって話し合い、知恵を出し合い、実践をしていくことが大切なことだと思えます。

浪合地区の皆さんと早く知り合いになって、多くの人と共に学んで行きたいと思えます。よろしくお願ひします。

## 記念式典で思いいよ



智里地区  
石原泰蔵さん

阿智村と浪合村の合併記念式典が一月七日に行われました。三百名ほどの参加者を得て「村民の知恵と力で小さくとも光り輝く村」を目指して新生阿智村が発足しましたことを喜びたいと思えますと共に、両村の良さを認め合い、足らざるを補い合っ

で、この合併が良い選択であったと、評価できるように努力することを誓い合いたいものです。

申すまでもなく、この式典は目標の出発点であって到達点ではありません。特例債の一时的な豊かさに陶醉することなく、かつて、サービスの低下と負担増を覚悟して自立の道を選んだ気概に立ち返り、険しい道程が、今、始まったと考えたいものです。

過日、神野直彦教授の記念講演を多くの村民と共に聞きました。犯罪の多発、勤労を放棄した青年の増加など、今日の社会的病理現象を克服するには、所有欲求から存在欲求へ、量から質へ、観客社会から参加社会へ、人間の絆の喪失から人間同士のふれあい社会へ、豊かさを求める社会から幸福を味わえる社会への転換が必要と指摘され、スウェーデンの実例が紹介されました。こうした歴史の潮流を察知し、村づくりに生かしていくことの大切さを学びました。さて、阿智村に自治組織が誕生して日はまだ浅いわけですが、地域への役割と期待度はいよいよ大きくなっています。各自治会の考えや取り組

み方は違っても、住民意識は着実に高まっていると思います。日ごろの話し合いの中にも「大工仕事なら奉仕でやってやる・家の重機を持ってきて掘ってやる・老人施設を作ってボランティアで運営したら」など、前向きな発言がしばしば聞かれるようになり、活動も活発になったように思います。「自発的に組織された機能集団こそ未来を住民のものとする」(神野教授) 可能性が伺えると言えます。

私どもの自治会も遅々とした歩みの真っ只中にありますが、子供の居場所づくりに立ち上がった若い母親グループ、助けを求めている人達に手を差し伸べるボランティアグループが誕生しました。さらに今、農産物を核とした地域おこしを企画している仲間達、農協売店の閉鎖問題を引き金にして地域商店をなくさない支援組織が産声を上げようとしています。こうした自発的な機能集団を育てることも自治会の大切な仕事と考えたいし、このことは地域の活性化と村づくりにつながると思います。

新しい村に向けて



浪合地区  
川口浩子さん

昨年十二月二十一日閉村式にて、浪合村の村旗が子供たちの手によって静かに降ろされました。

浪合の地に産まれ育ち四十余年が過ぎ、今迄の様々な思いが駆け巡り目頭が熱くなりました。

昨年より村づくり会議の委員として、阿智の方と一緒に話し合いや各村の視察を行って来て、今迄知らなかった阿智村には、素晴らしい所が沢山あり、勉強になったと思います。

自分は村づくり会議の委員として、何ができたのかいろいろと反省すべき点ばかりですが、これから合併してよかったという村を作っていくのも自分達なのだと思えました。

先日地区のお年寄りが「これからちょっと阿智まで行って来ると言

うのはおかしいなあ、駒場まで行くと、言わんと、同じ村の中なんだで」と言っていました。「あっ、そうだな」って笑いながら話しましたが、そんな些細な事からも合併を実感しました。

お知らせ  
住所表示の変更について

平成十八年一月一日の合併後、住所表示が次のように変わりました。

【阿智地区では】

- 合併前 阿智村大字春日○○番地
- 合併後 阿智村春日○○番地
- 合併前 阿智村大字駒場○○番地
- 合併後 阿智村駒場○○番地

と、合併時に「大字」の表示を削除することになったものです。伍和・智里・駒は変更ありません。

【浪合地区では】

- 合併前 浪合村○○番地
  - 合併後 阿智村浪合○○番地
- と変更になりました。

ただし、地番・郵便番号・電話番号については変更ありません。詳しくは、十二月にお配りしました、阿智村「暮らしのガイドブック」をご覧ください。

心をひとつに



阿智中学校2年  
熊谷大周さん

僕の家は園原です。保育園は智里西保育所でしたが、小学校は、阿智第一小学校でした。二十七年前に、智里西小学校と会地小学校が統合して出来た、学校だそうです。毎日スクールバスで通い、六年間の間にたくさんさんの思い出と友達が出来ました。僕は野球が大好きなので、小学校二年生から少年野球をやりました。入ったチームは智里少年野球だったので、ここでは第二小学校の人達と、毎週日曜日に練習や試合をして、楽しい思い出が出来ました。

このような生活をしていたので、中学校へ入学した時も、顔見知りの人が多くスムーズに溶け込むことができ、今でも楽しい学校生活を送っています。

今回、浪合地区の人達と仲間になり、新しい阿智村となりました。僕には、この合併でよくなることや、問題になることは、よくわかりませんが、でも一つ考えられることは、より良い阿智村を造っていくには、村民一人ひとりが、心をひとつに合わせていくことが大切だということです。そのためには、浪合の人達と交流する機会を多くし大人も子供も、早く顔見知りになることが必要です。

(中略)

僕が入っている、阿智中学校野球部は、昨年の夏に新チームとなり、みんなで目標をたてました。それは「長野県で一番になる」ことです。秋の新人戦では飯伊大会では優勝しましたが、南信大会で負けてしまいました。このときの悔しさと反省を元に、全部員がひとつになり、新しい阿智村がスタートした記念の年に阿智中学校の名前を、長野県内にしつかりとアピールしたいと思います。

僕は、温泉やスキー場があり、自然が豊かなこの阿智村が好きです。この「阿智」という名前に誇りを持ちながら、これから先いろいろなことにチャレンジして行きたいと思います。

僕たちの世代が  
力を合わせ、  
一緒に新しい村の歴史を



浪合中学校2年  
高木拓也さん

ぼくの通っている浪合中学校は、標高九五六mで冬はとても寒く雪も多いところですが、二つのスキー場があり、この休み中も毎日のようにスキーやスノーボードを楽しんでいます。浪合は、四季折々の自然がとても美しく季節の移り変わりをどこよりもはっきりと感ずることができると思います。(中略)

先日、浪合村の閉村式がありましたが、そこで村の歴史を振り返るビデオを見ながらぼくは、こんないい村がどっしてなくなってしまうのだろうととても寂しい気持ちになりました。でも、以前に合併協議会から出された新しい村作りの目標である、「歴史とロマン、湯けむりと涼風薫る、活力あふれる心豊かな村」

ということばを思い出しました。浪合村はなくなっても浪合の美しい自然や住む人の心は変わらないし、これからはそれが新・阿智村全体の財産として、より多くの人から愛されるようになるのだと思います。

同じように阿智村の誇る屋神温泉や園原の里が、ぼくたちと同じ村になることが、ぼくはとても楽しみます。浪合には治部坂高原をはじめとしてたくさんさんの観光名所があります。阿智の名所と一緒に、南信州を代表する大きな観光エリアとして今より一層賑わうのではないかと思います。阿智、浪合両方の良いところを、日本中にアピールできる機会になるとよいと思います。

数年後にはいよいよ中学校が統合されると聞いています。母校・浪合中がなくなってしまうのは寂しいという気持ちはありますが、ぼくたちの後輩が、阿智中の仲間と一緒に元気にやっていけるように、ぼくは浪合中を、阿智中に負けないくらい良い学校にしたいと思います。

そして将来は、ぼくたちの世代が力を合わせ、一緒に新しい村の歴史を作っていきたいと思います。

# 合併までの主な経過 < 住民投票・住民意識調査～第5回合併協議会まで >

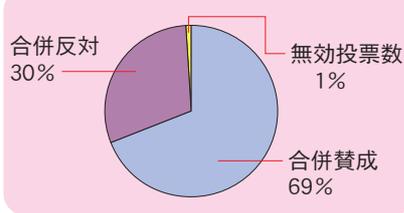
阿智村との合併を考える住民説明会（浪合村）

平成16年10月 4日～ 12日

浪合村住民投票・開票

10月 17日(日)

浪合村住民投票合併賛否割合



・18歳以上全住民対象

賛否	票数	割合
合併賛成	357	69%
合併反対	155	30%
有効投票数	512	
無効投票数	6	1%
総投票数	518	

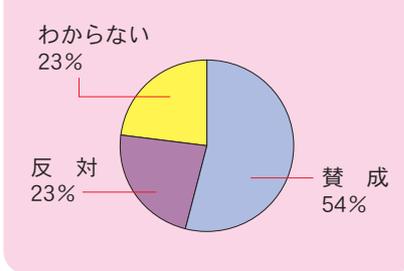
阿智村住民説明会（48集落）

10月 19日～ 28日

合併に関する住民意向調査公開開票（阿智村）

11月 9日(火)

阿智村意向調査合併賛否票数



・19歳以上全住民対象

賛否等項目	票数	割合
調査対象者数	4,793	
回収総数	4,222	88%
有効回答数	4,179	
賛成	2,255	54%
反対	979	23%
わからない	945	23%
無効回答数	43	

任意合併協議会 解散

11月 29日(月)

阿智村・浪合村合併協議会設置議案議決

12月 6日(月)

阿智村・浪合村合併協議会の設置に関する協議書調印

12月 16日(木)

第1回合併協議会

・以後第7回まで開催



協議会



調印式

第1回新しい村づくり会議（法定協下初回）

平成17年1月 22日(土)

阿智村自治会懇談会（6自治会）

2月 16日～ 18日

県へ新村建設計画の正式協議

・3月1日付け県が承認

2月 23日(水)

浪合村住民説明会（9自治会）

2月 28日～ 3月 8日

阿智村住民説明会（48集落）

3月 1日～ 13日

第5回合併協議会

・新村建設計画決定、合併協定書確認

3月 9日(水)

# 合併までの主な経過 ＜合併協定調印式～合併記念式典まで＞

合併協定調印式

平成17年 3月 16日(水)

阿智村役場において  
合併協議会委員立会いのもと、  
合併協定書調印を行いました。



両村議会、合併関連議案議決

3月 22日(火)

県知事へ廃置分合申請(合併申請)

3月 24日(木)

長野県庁知事室において  
両村長、両村議長が廃置分合  
申請書を知事に手渡しました。



長野県議会で議決

7月 11日(月)

知事決定・国へ届出

7月 12日(火) 決定

7月 13日(水) 届出

総務大臣告示(官報)

8月 12日(金)

浪合村閉村式

12月 21日(水)

第7回合併協議会

・ 12月 31日付け解散

12月 22日(木)

新村発足カウントダウンイベント

12月 31日(土)

合併

平成18年 1月 1日(日) 祝 元旦

新阿智村発足式及び浪合支所開所式

1月 4日(水)



新村発足式

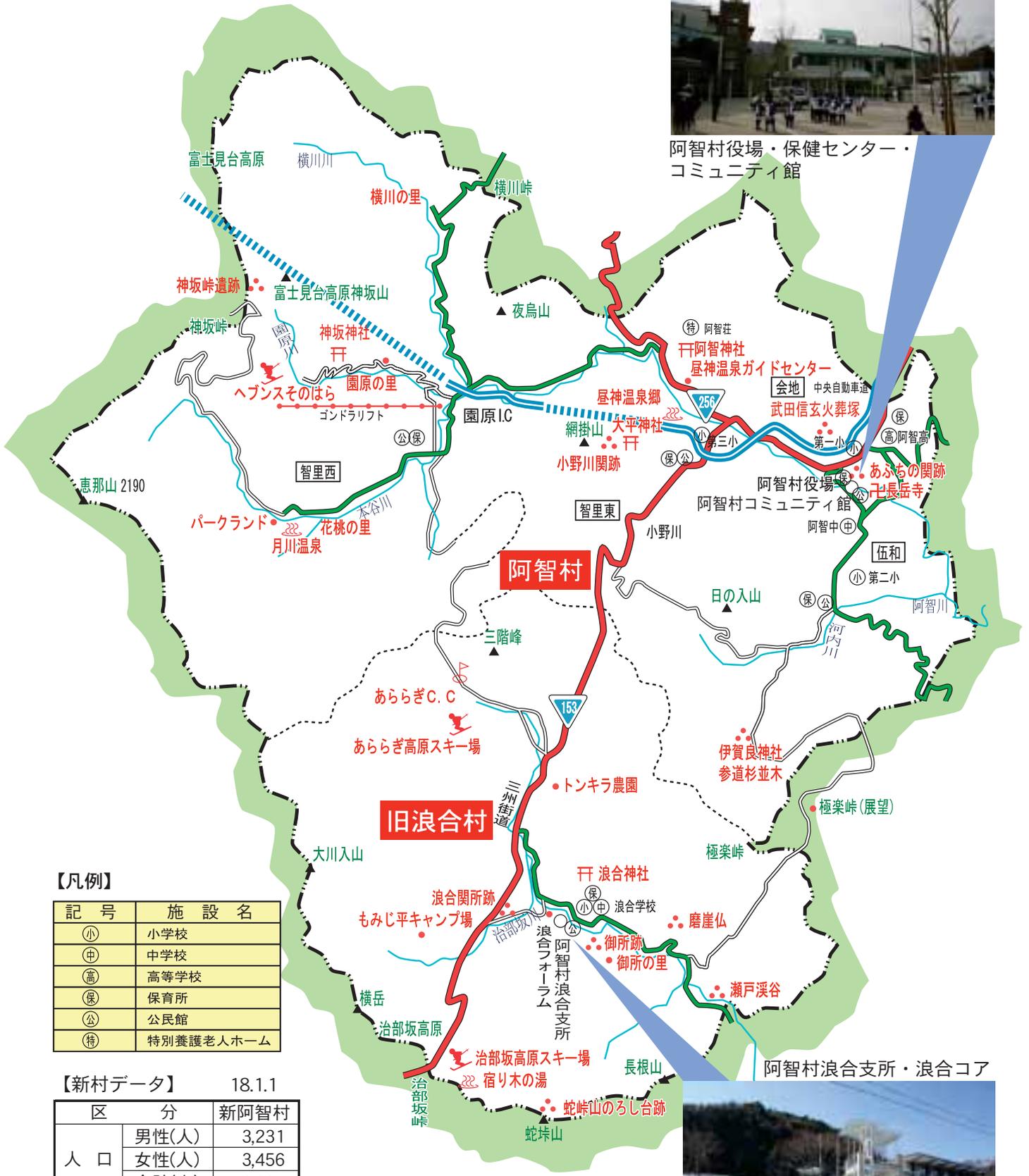


浪合支所開所式

阿智村・浪合村合併記念式典

1月 7日(土)

# 新阿智村概要マップ



阿智村役場・保健センター・コミュニティ館

阿智村浪合支所・浪合コア

【凡例】

記号	施設名
⊙	小学校
⊙	中学校
⊙	高等学校
⊙	保育所
⊙	公民館
⊙	特別養護老人ホーム

【新村データ】 18.1.1

区分		新阿智村
人口	男性(人)	3,231
	女性(人)	3,456
	合計(人)	6,687
世帯数	世帯(戸)	2,092
区域	面積(Km <sup>2</sup> )	170.3
	東西(Km)	26.1
	南北(Km)	23.6

# 浪合村閉村式典開催

旧浪合村では、「浪合村閉村式典」を十二月二十一日(木)に浪合学校体育館で厳粛に開催しました。

阿智村長をはじめ阿智村の関係者、長野県、国・県議会議員、国・県機関、飯田下伊那の市町村関係者など多くの来賓を迎え、村政功労者の表彰、「ありがとう…さようなら浪合村」と題した村の歴史をまとめたスライド上映、そして「ありがとう浪合村〜未来へ続く『浪合学校』」をテーマに、田口祥子さん(小六年)、吉田彬人さん(小六年)、川上ゆうきさん(中三年)、稲垣一哉さん(中三年)の作文発表がありました。最後に多くの村民が見守る中、浪合村旗が降納され、宮島桃花さん(小六年)、三宅康仁さん(小六年)、小池慧さん(中三年)、大川匠さん(中三年)の手から浪合村長に手渡されました。

また浪合村消防団閉団式は、十二月二十五日(日)浪合コアホールにおいて村議会議員、消防委員、歴代の浪合消防団長、駐在所長等関係者をお迎えして

開催しました。昭和十四年に浪合村消防団の原型である「浪合村警防団」が発足、昭和二十二年に「浪合村消防団」が誕生し、今日迄、地域の予備消防等に務めてきました。式典では伝統ある浪合村消防団の「団旗」が旗手から団長へ、そして村長に返納されました。一月からは「阿智村消防団第七分団」として活動していきます。

浪合村役場閉庁式は、十二月二十八日に行なわれ、伊藤義寛村長と佐々木重義教育長の手により「浪合村役場」の看板がはずされました。

十二月三十一日から一月一日にかけて行なわれた、合併カウントダウンイベントでは、参加者二百名により十秒前からカウントダウンが行なわれました。一月一日午前〇時には合併を祝す約七十本の煙火が打ち上げられ、澄みきつた冬の夜空に大きく見事な花火の華が咲き、豪快な音が響き渡りました。続いて伊藤旧浪合村長と岡庭村長によって鏡割りがされ、堅い握手を交わしました。



浪合村閉村式



浪合村役場閉庁



浪合村消防団閉団式



浪合小中学生による浪合村旗降納



合併カウントダウン(鏡割り)

# 阿智村合併50周年記念式典が盛大に開催されました

昭和三十一年九月三十日に、会地、伍和、智里の三村が合併して、「阿智村」が誕生し、五十年を迎えます。この合併五十周年の記念式典を、国・県議会議員のみなさん、友好市町村の首長、村関係者のみなさんなどおよそ三百人が出席する中、十一月二十六日、阿智村中央公民館で行いました。

合併五十周年を祝うと共に、阿智村が五十年間歩んできた道程を振り返り、阿智村を再発見し、それを未来に繋いで行く事としました。



「中関元禄義士踊り」

オープニングアトラクションとして、村の無形文化財に指定された「中関元禄義士踊り」を中関地区の小学生が披露し、式典の幕が開きました。

村長式辞では、阿智村の五十年の歴史を振り返る中で、合併当初の度重なる災害、その後盟和産業などの工場誘致に始まる産業振興、偶然にも湧出した昼神温泉とその後の観光開発などに触れ、「今後も豊かな自然と自立心あふれる村づくりを進めて行きたい」と述べました。

続いて、村政功労者表彰が行われ、二十三名の方が表彰状を授与されました。



村政功労者表彰

今回阿智村の歩みを振り返るため「未来に残したい景観 阿智村五十選」の選定を村民公募で行い、選定された村内の五十の景観の発表を行いました。



「未来に残したい景観、阿智村五十選」の展示

した。また、公民館ロビーにおいて、五十選の写真展示を行いました。

続いて、長年の伝統芸能の伝承が認められ、村の無形文化財として指定されることになった、「中関元禄義士踊り」と「木賊獅子」に村無形文化財指定書の授与が行われました。両団体とも、伝統芸能伝承の心を新たにされています。

来賓祝辞・祝電披露の後、式典を終了して、会場を昼神温泉「伊那華」に移して、祝賀会を行い阿智村の合併五十周年を盛大に祝いました。

# 平成18年度 村民税県民税の申告について

## 申告書の提出期限は 3月15日(水曜日)までです

今年も村民税、県民税の申告の時期となりました。村では二月十六日から三月十日まで下表の通り地区割をし、納税相談を実施します。忘れずに申告して下さい。

### ● 申告しなければならぬ人

- 一、平成十八年一月一日現在、阿智村に住所のある人で
  - ア 平成十七年中(平成十七年一月一日から平成十七年十二月三十一日まで)に所得のあった人。
  - イ 給与を二カ所以上から支給されている人。
  - ウ 給与所得者で給与以外の所得があった人。
  - エ 年末調整のされなかった個人事業の従業員、土木事業等の従事者、内職などの賃金を受けた人。
  - オ 住宅取得控除、雑損控除、医療費控除等を受けようとする人。

二、阿智村の住民基本台帳に記載されていないが、現実に村内に在住する人および事務所または家屋敷を有する人。

### ● 申告しなくてもよい人

- 一、税務署へ平成十七年分の所得税の確定申告を提出した人。
- 二、一カ所からの給与所得のみで、勤務先の事業所から「平成十八年度給与支払報告書」が提出されている人。

### ● 申告の時に必要なもの

- 一、必要な事項を記載した申告書
- 二、給料、賃金などの支給をうけている場合で申告を要する人は「源泉徴収票」又は「支払額の証明」など。
- 三、国民年金保険料、生命保険料、損害保険料、小規模企業共済の昨年一月から十二月までに支払った保険料の領収書等。
- 四、印鑑、筆記具、農業所得のお知らせ、農産物販売精算伝票、譲渡所得のある人は必ず売買契約書又はそれに代わるものをご持参下さい。
- 五、還付の場合：自分名義の預金通帳等口座番号の控え(還付金の振込のため)

### 納税相談日と指定地区

下記の日程で行いますので今から都合をつけていただき、円滑な納税相談や申告ができますようご協力下さい。

月	日	曜日	時 間	相談地区範囲	相談場所	月	日	曜日	時 間	相談地区範囲	相談場所		
2	16	木	AM 9:00~AM 11:00	恩田・荒谷	浪合支所	2	28	火	AM 9:00~AM 11:00	上郷	阿智村コミュニティ館		
			PM 1:00~PM 4:00	宮の原・宮本					PM 1:00~PM 4:00	大鹿			
2	17	金	AM 9:00~AM 11:00	中下町・浪合上町		3	1	水	AM 9:00~AM 11:00	洞・寺尾			
			PM 1:00~PM 4:00	治部坂・上半堀・下半堀					PM 1:00~PM 4:00	日の入・青見平			
2	20	月	AM 9:00~AM 11:00	七久里		阿智村コミュニティ館	3	2	木	AM 9:00~AM 11:00		原の平	
			PM 1:00~PM 4:00	知久保・豎町						PM 1:00~PM 4:00		西栗矢・東栗矢	
2	21	火	AM 9:00~AM 11:00	下西			3	3	金	AM 9:00~AM 11:00		丸山	
			PM 1:00~PM 4:00	中関下						PM 1:00~PM 4:00		備中原	
2	22	水	AM 9:00~AM 11:00	中関上・砂田			阿智村コミュニティ館	3	5	日		AM 9:00~AM 11:00	平日都合の悪い方
			PM 1:00~PM 4:00	木戸脇・伝馬町								PM 1:00~PM 4:00	平日都合の悪い方
2	23	木	AM 9:00~AM 11:00	馬場・下町一・二	3			6	月	AM 9:00~AM 11:00	大沢・中野		
			PM 1:00~PM 4:00	栄町一・二・新富町						PM 1:00~PM 4:00	大野		
2	24	金	AM 9:00~AM 11:00	上町一・二・三・大橋	阿智村コミュニティ館			3	7	火	AM 9:00~AM 11:00	奥藤・中平	
			PM 1:00~PM 4:00	市の沢・曾山							PM 1:00~PM 4:00	伏谷・濃間	
2	26	日	AM 9:00~AM 11:00	平日都合の悪い方		阿智村コミュニティ館		3	8	水	AM 9:00~AM 11:00	下平	
			PM 1:00~PM 4:00	平日都合の悪い方							PM 1:00~PM 4:00	昼神	
2	27	月	AM 9:00~AM 11:00	古料				阿智村コミュニティ館	3	9	木	AM 9:00~AM 11:00	中央・戸沢
			PM 1:00~PM 4:00	下郷								PM 1:00~PM 4:00	園原
3	10	金	AM 9:00~AM 11:00	下郷			3		10	金	AM 9:00~AM 11:00	横川・中関団地	

13~15日は、申告書整理事務のため、地区割をした期間内の申告相談にご協力をお願いします。

## 小学校にAEDを寄贈 いただきました

民生課

一昨年七月より救命救急が進歩して、心臓停止患者にAED（自動体外式除細動器）使用が承認されました。飯田市立病院神津医師、飯田広域消防、医師会の努力の中で、飯田下伊那では

県下に先駆けて、救急車にAEDを設置して救命救急に取り組み、平成十六年度実績で十三件使用され、阿智村では一事件例がありました。

突然起こる心臓しんとう（重症不整脈）に、電気ショックを与え心臓本来のリズムを回復させる処置に備えAED設置が求められました。九月末AEDを役場と昼神温泉鶴巻荘に設置し、十月中旬阿智中学校に設置しました。

十一月末、化成工業様より村内三つの小学校にAEDを寄贈頂きました。限られた予算の中で一度に設置は難しい中で、御厚意により県下で初めて全小中学校にAEDを設置できまし

た。大変ありがとうございました。子供達を始め社会体育も安心して活動できます。また地元大工さんの御厚意で、各小中学校の体育館入口にAEDを木箱に入れ設置します。

最近のS高校野球部の例のように、心臓にボール等が当たって突然心臓しんとうが起こった時、電気ショックを与え心臓本来のリズムを回復させる処置を行えるのがAEDです。胸部の心臓の上に比較的弱い衝撃（子供が投げた野球のボールが当たる程度の衝撃）で起こります。最近の日本国内症例十二例では、野球のボールが当たり発症したのが七例、ソフトボールが一例、拳が一例、手掌が一例、肘が一例、バットが一例です。十例が十七歳以下の子供に発生しています。この中に心臓マッサージとAEDによる早期除細動処置により心拍が再開し社会復帰した方が二人います。

心臓に負担をかけるマラソン大会、ボールを使うスポーツ大会等は、大会本部にAEDを設置しておく事が求められます。役場と鶴巻荘のAEDは貸出し可能です。申請により使用してください。

心臓停止の患者に遭遇した時は、救急車には全て配置されていますので、①一―九番で救急車を呼んで下さい。②役場に「心臓停止でAEDが必要なので、場所を告げて連絡して下さい。届けます。③救急車またAED到着まで、人口呼吸、心臓マッサージを実施して救急救命を行って下さい。五分以内にAEDを取り寄せて処置を行うと、生存率が格段に上がります。AEDは誰でも音声の誘導によって使用できます。スポーツ指導者また主催される皆さんは、普通救命講習を受けて取り扱いを熟知しておく必要があります。八歳以上、二十五kg以上の子供に使用できる等の注意点があります。今後随時講習を実施しますのでご参加下さい。

## 人事異動

〈平成十八年一月一日〉

新「阿智村」誕生により旧浪合村職員に辞令交付がされました。

### 【参与】

伊藤義寛

### 【総務課】

▽浪合支所長 課長補佐 山口修二

▽征矢佐賀美

### 【出納室】

▽山口智廣

### 【民生課】

▽近藤和仁・小笠原寛

▽浪合支所 課長補佐 塩澤英明

▽浪合支所 住吉幹子・河合 孝

▽浪合診療所 柳沢智彦・豊田照子・山口 豊

▽浪合授産所 下山和幸・近藤祥子

### 【ふるさと整備課】

▽浪合支所 近藤明人・佐々木孝彦・小原 繁

### 【経済活性化課】

▽近藤忠雄・近藤光正・塩澤 満・近藤庸平

### 【保育所】

▽浪合保育所 塩澤喜久子・川手かね子・矢澤

めぐみ（臨時的任用）

### 【教育委員会】

▽浪合公民館 川上 悟

▽浪合給食調理場 佐々木千佐代・下山みさを

# 村内年長交流会

阿智村保育所



みんなそろってなぎ登り

村内5園の全年長児の交流会を年1回行っていきます。今年度は、虫捕り遠足を行いました。阿智村智里西地区の自然に目を向けて、友だち同士一緒に歩きながら秋の自然に触れたり、昆虫採集などの体験ができることを願って行いました。

10月13日木曜日、年長児みんなの思いが天の神様に届いたのでしょうか、この日は遠足日和でした。

智里西保育所までは、タクシー

バスに乗っていきました。バスのなかでは、「家のお母さんここの温泉で働いているよ。」など、友だちとおしゃべりしながら楽しく行きました。西保育所では、西の友だちが待っていて各保育所ごとに自己紹介をしてから、村民グラウンドへ出発しました。

歩きながらどんぐりを拾ったり、途中でなぎ登りなぎ滑りをして遊びました。日頃経験ができなかった遊びだったので、西の友だちの遊び方を見せてもらい、他の園の子ども達も次々となぎ登りを始めました。高い所からズルズルズル～と、滑って楽しみました。

なぎ登りを思いっきり楽しんでから、再びグラウンドへと歩きました。グラウンドへ着くとカバンを下ろし、虫捕り網を持って走り回る子、自分の帽子で捕る子、素手で捕る子、色々な方法を考えて虫捕りを楽しみました。「わ～すごい！トノサマバツタが飛んだ。」と、初めてトノサマバツタを見た子どももいました。その後、全員でかけっこやしゃぼ取りをして遊びました。

自然の中で、沢山の友だちと触れ合い遊んだことで、子ども達はとても楽しい一日を過ごすことができました。

阿智村にはすてきな所があることを知り、いつまでも住みたい気持ちが育つように、毎年1回の交流会を大切に、今後も保育事業を行なっていきたいと思います。



村民グラウンドで記念撮影

# 阿智高だより

vol. 8

あけましておめでとうございます。今年は例年になく寒く、雪の多い冬になりました。阿智高も3学期を迎え、今年度も後残りわずかとなりました。

3年生はもうすぐ自宅研修に入ります。卒業ももうすぐ。みんな新しい旅立ちに胸躍らせて過ごしています。

## 研修旅行に行ってきました

去る10月19日から21日までの3日間、2年生が研修旅行に行ってきました。広島市内を見学し、その後江田島へ渡り、底引き網漁、干物づくり、オーシャンカヤック、ボードセーリング、OPヨット、ビーチバレーなどの体験学習を行いました。珍しい体験で、楽しい時間を過ごすことができました。



## 秋季クラスマッチが行われました

11月8日、9日に秋季クラスマッチを行いました。男子はサッカー、卓球、バレー、女子はバレーとソフトテニスを行いました。幸い二日間とも晴天に恵まれ、白熱した試合が展開されました。秋空の下、生徒たちの歓声が響き渡っていました。



## ミニコンサート開催される♪

12月6日、8日の放課後、生徒と先生によるミニコンサートが音楽室で開催されました。ピアノ、フルート、トランペットの演奏で、一足早いクリスマス気分を味わい、穏やかな時間を過ごすことができました。



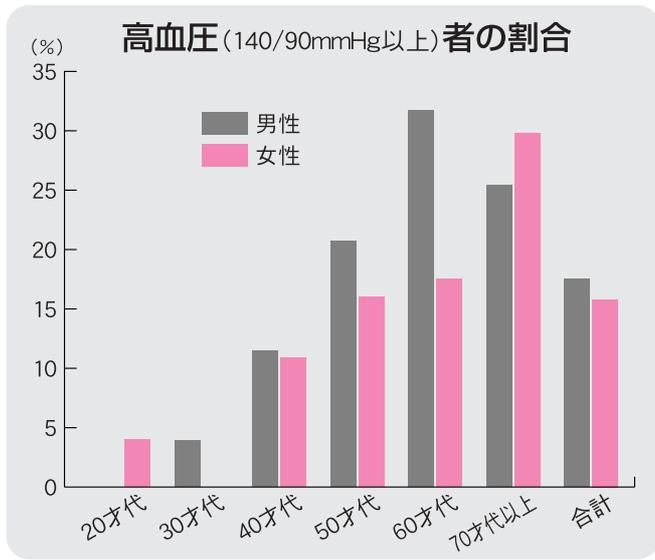
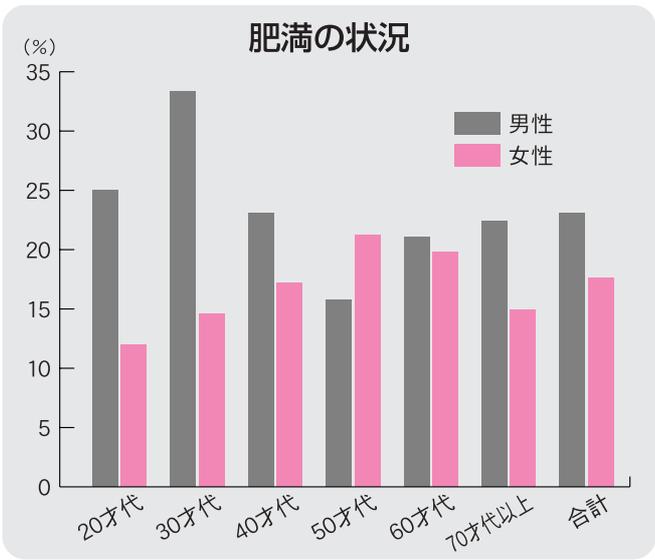
### 今後の予定

- 2月 前期入試
- 3月 卒業式  
後期入試

# 新阿智村の健康状態は？

## 若い男性の肥満と全体では高血圧に要注意

17年度の健診受診者は742人（男性316人、女性426人）でした。健診結果をまとめたところ、新阿智村の健康の状態がわかりました。まずは若い男性の肥満が目立ちます。メタボリックシンドローム（肥満、高血圧、高血糖、中性脂肪、コレステロールの値が少しの異常でも重なっていると要注意！）を予防しましょう。また、高血圧は3割を超えています。50才代から増え始め60才代になると3人に1人が要注意となります。血圧の管理をすることで脳血管疾患を予防していきましょう。



**運動不足に  
なりがちな時期です**

今年の冬は寒さが一段と厳しくまだ長く続きそうです。血液循環をよくし、固くなった身体をほぐすためにも、温泉で身体をのびのび動かしませんか。

**《安全な温泉入浴法》**

- ① かかり湯は肌が赤くなるまで
- ② 汗ばんだら湯船を出て休む
- ③ 3回以上繰り返して湯船に入らない
- ④ 入浴前後に水分補給をたっぷりとする
- ⑤ 温泉に入るのは1日に3回まで(元を取ろうとしない)
- ⑥ 飲酒後の入浴は避ける
- ⑦ 夜の温泉に一人で入らない
- ⑧ 運転して帰る日の入浴はさっと切り上げる

**《水中運動を体験してみるには》**

入場料（大人四百円、3歳以上の子ども二百円）で体験ができます。（事前ご連絡必要）  
※幼児学童対象のホップジュニアは参加希望が多いため、ただいま体験をお待ちいただいております。

**【連絡先】**

○保健センター（☎45-11230）  
※チャレンジゆつAchiの水泳教室についてのお問い合わせは事務局（公民館内）（☎43-2061）までお願いします。

**保健計画**

月 日	事 業	月 日	事 業
1月31日	4・7ヶ月健診	3月1日	ひよっこ教室
2月1日	ひよっこ教室	3月2日	3歳児健診
2月21日	3歳児眼科健診	3月13日	2歳児健診
2月22日	10ヶ月健診	3月18日	4・7ヶ月健診
2月23日	1歳半健診	毎週金曜日	リハビリ教室
2月28日	4・7ヶ月健診	毎週水・木・金曜日	水中運動教室（基礎教室）
		毎週水・木・金曜日	水中運動教室（目的別教室）

## 子どもにとって体力とは ~あらゆる活動の源~

体力は、人間のあらゆる活動の源であり、健康な生活を営む上でも、また物事に取り組む意欲や気力といった精神面の充実にも深く関わっており、人間の健全な発達・成長を支え、より豊かで充実した生活を送る上で大変重要なものです。

こうしたことから、子どもの時期に活発な身体活動を行うことは、成長・発達に必要な体力を高めることはもとより、運動・スポーツに親しむ身体的能力の基礎を養い、病気から身体を守る体力を強化し、より健康な状態をつくっていくことにつながります。

したがって、保護者の皆様は、子どもの心と身体と知性がバランスよく成長・発達するよう見守り、育て、働きかけていくことが必要となります。とりわけ、体力は、人間のあらゆる活動の源であり、子どもの頃から積極的にその健全な発達を図ることが大切です。

### 生活習慣をチェックしてみよう！

#### 食事

- 朝、昼、夕と1日3回の食事を規則正しくとっていますか？
- ごはん、肉、野菜など、いろいろな食品を組み合わせて、バランスのいい食事をしていますか？
- おやつは種類や量などを考えてとっていますか？
- 家族や仲間と楽しく食事をしていますか？



#### 運動

- 毎日息が弾むくらいの運動を30分程度していますか？
- 日常生活ではできるだけ体を動かすようにしていますか？
- 運動やスポーツをすることを通じて家族や友だちと過ごす機会がありますか？
- 自分の体力に関心を持ち、自分に合った運動やスポーツをしていますか？



#### 休養

- スポーツや勉強などの途中でも適度に休憩（きゆうけい）をとっていますか？
- 毎日ゆったりとお風呂に入って過ごしていますか？
- 毎日十分にぐっすり規則正しくねむれていますか？
- 時には本を読んだり、音楽を聴いたりするなど、好きなことをする時間をとっていますか？
- 家族や友だちとおしゃべりをしたり、楽しく遊んでいますか？



# Photo report [フォト・リポート]

## 子供を犯罪から守る



子供たちをあらゆる犯罪から守ろうと、「ボランティアちさと」のメンバー約20名（大野；井原正義さん代表）が子供たちの帰宅時間に危険箇所のパトロール活動を開始しました。村ではパトロール活動が誰にも一目でわかるように、ベストを貸与することになりました。同じような活動は広がり、第一小学校PTAでも下校時の活動を実施しています。

## 消防団出初式



新春恒例の消防団出初式が1月8日（日）に行われました。保育園児を先頭に行った市中行進につづいて、中央公民館ホールにおいて、功労者や退団者の表彰等の式典を行い、無火災に気持ちを引き締めました。

# 新阿智村誕生

年 金太郎



## あぜみち

一月一日より新「阿智村」が発足しました。十二月三十一日深夜は、浪合村において、七十二年の浪合村の閉村と阿智村発足の力ウントダウンの催しが行われました。老いも若きも、帰省した方も加わって賑やかな会となりました。澄みきった夜空いっぱい広がる花火は、浪合の人々の思いを表したものでした。帰り際に、握手を取り交わした人々の温もりが、今でも思い出されます。

テレビと新聞では毎日、大雪に苦闘する人々の状況を伝えていきます。未曾有の大雪ですが、今回特に印象に残るのは、高齢者世帯の問題です。個々の世帯は云うに及ばず、集落全体が災害に弱くなっていることです。地震が予想される私達の地域にとっても、これは人事ではありません。改めて考えてみるのが大切です。

今年の出初式は好天に恵まれました。消防団員に混じって保育園児が行進しました。新たに浪合保育園の子ども達も仲良く行進しました。浪合村の閉村式でも合併記念式典でも、小中学生の代表によるそれぞれの作文の発表がありました。今回の合併が、子ども達の時代に「合併して良かった」と思われるよう、力を合わせていかなくてはならないと思います。(一)